

NNR お見合い・交際～ご成婚までの手引き

はじめまして！

- ・お見合いの申込み
- ・お見合いの身だしなみ
- ・お見合いの時のマナー
- ・交際になったら
- ・真剣交際
- ・ご成婚

お見合いからご成婚までの身だしなみやマナー・決まりは、
家族という小さな社会（結婚生活）の中でも必要なことです。
この冊子でご紹介するマナーや決まりは交際を発展させる
ポイントをまとめています。
是非、素敵なパートナーと良いご縁を結んで下さい。

お見合い申込み

申込み

お見合い申込み後の取り消しはできません。お申し込みは慎重に！

プロフィールの内容に変更がある場合は、速やかに所属の相談室へ修正を依頼し、修正が完了してからお申し込みを行うようにしましょう。お申し込みが完了した後は、いかなる場合でも取り消しはできません。この段階では、お相手からのお返事をお待ちいただくことになります。また、また、お相手から「OK」のお返事をいただいた場合は、必ずお見合いを行っていただく必要があります。お相手のプロフィールをよくご確認ください。なお、「OK」のお返事をいただいた後にお見合いのキャンセルを希望された場合は、違約金が発生しますのでご注意ください。

お申込みいただいたら必ず回答しましょう

お見合いのお申し込みを「受けた場合」の回答期限は、お申し込みを受けた日時から 14 日以内です。より良いご縁につなげるためにも、**できるだけ早く（可能であれば当日、遅くとも 2～3 日以内）にご回答いただくこと**をお勧めします。お受けする、お断わりする、に関わらず**早急に回答**しましょう。何のご返答もないままが過ぎてしまうのは、ご自身に置き換えても寂しいものです。選んでくださったお相手に失礼のないよう、誠実な対応をお願いいたします。

また、「OK」のお返事をされた場合は、**1 週間以内にお見合いの日程を確定させる**ようにしましょう。お見合いの実施日は、**成立日から 1 ヶ月以内を目安に**設定していただくことをおすすめします。もし、どうしても調整に時間がかかる場合や、特別な事情がある場合は、担当カウンセラーまでご相談ください。なお、**申し込み側・お申し込みを受けた側にかかわらず、一度決まったお見合いをキャンセルされる場合は違約金が発生しますので、十分にご注意ください。**

お申し込みが
あったら

お見合い 場所

お見合いの待ち合わせ場所

お見合い場所の設定は、**原則として申し込みを受けた側の希望に合わせます**。ただし、双方の承諾があればこの限りではありません。また、遠方の方へお申し込みをされる場合は、お相手のお住まいの地域でお見合いが行われることを想定してお申し込みください。待ち合わせ場所は、主にホテルのラウンジが利用されます。

お見合いの実施方法については、「対面」「オンライン」または「両方可」のいずれかをプロフィール上に表記することができます。お申し込み時にも、実施方法を個別に選択することが可能です。お相手から実施方法を指定してお申し込みがある場合もありますので、受ける際はその方法でお見合いを行う前提でお受けください。**不慣れな場所で迷うことのないよう、事前に場所を確認しておきましょう。**

お見合いの身だしなみ

お相手の女性は、お写真の男性に会えることをワクワクドキドキしています。当日は、対面・オンラインを問わず、プロフィール写真に近い印象でお会いできるよう心がけましょう。**初対面で悪い印象を残してしまうと、どんなに会話が盛り上がったと感じても、交際に発展することは難しくなってしまいます。**

せっかくの「お見合い」というチャンスの場で後悔のないよう、この冊子を参考にしながら準備を整えていきましょう。

お見合いは、原則として**遅刻厳禁**です。定刻 10 分前には指定の場所に到着するようにしましょう。地域や場所によりますが、基本的には公共交通機関（主に電車等）の利用を推奨します。**所属相談室への連絡なしに 15 分以上の遅刻をした場合、お相手側が「お見合いが不可能」と判断することがあります。その場合や、当日キャンセルをされた場合にも違約金が発生します。やむを得ず定刻に間に合わない場合は、速やかに所属相談室までご連絡ください。**また、当日、体調不良などのやむを得ない理由でキャンセルされる場合は、お相手のご自宅を出発される前までに連絡が完了していれば、別日での再設定が可能となる場合があります。できる限り早い対応をお願いします。双方ともメールアドレスが登録されていればシステムのお見合い詳細画面で「緊急連絡ツール」が利用できます。お互いの貴重な時間を大切にしましょう。

遅刻

髪

重要なのは清潔感

男性が気にされがちな「髪の多い・少ない」という点は、女性はそれほど重視していません。お見合いの数日前までに美容院で整え、眉カットもしてとくとより印象が良くなります。前日、当日のシャンプーや整髪料のつけすぎには注意して、肩にフケが見えるなど清潔感を損なうことのないよう十分に注意しましょう。

服装

基本はスーツまたはジャケット

スーツは、黒・ダークグレー・ネイビーなどの落ち着いた色味が一般的です。シャツは、白をはじめとした清潔感のある色を選ぶと良いでしょう。着こなしに迷った際は、専門店のスタッフに相談するのもおすすめです。なお、シワのあるスーツや、シャツ、デニム、パーカーなどのラフな服装は、お見合いの場にはふさわしくありません。

身だしなみ

該当ポイントはありませんか？

- ・爪の長さや汚れ ・靴の汚れ
- ・襟元や袖口の汚れ ・肩のフケ
- ・口臭 ・ヒゲの剃り残し ・鼻毛の処理

これらは、女性が特に目に留めやすい身だしなみのポイントです。日頃から意識して清潔に保ち、お見合い当日は対面前に必ず最終チェックを行いましょう。

表情

全てのお相手に笑顔で！

第一印象は、出会ってほんの数秒で決まると言われています。無表情で声のトーンが低いと、相手に怖い印象を与えてしまうこともあります。良い印象を持ってもらうためのポイントは、明るい挨拶と笑顔です。自分では少しオーバーだと感じるくらいの笑顔が、相手にはちょうど良く見えるものです。声のトーンも、普段より少し明るく意識して話すように心がけましょう。

お見合い時のマナー

挨拶

笑顔で挨拶しましょう

初対面の相手に対して、**人はわずか 0.2 秒から数秒で「味方が敵か」を無意識に判断すると言われています。**これは身を守るための本能であり、笑顔の相手は味方として認識されやすくなります。初めて異性と会うと緊張しますが、相手も同様ですので心配はいりません。緊張した表情で挨拶をすると、お互いに緊張が増してしまいます。**笑顔で「はじめまして」と挨拶し、来ていただいたお礼を伝えるだけでも、良い印象を与られます。**笑顔は女性だけでなく、お付き添いの相談室スタッフにも好印象を与え、次回につながる可能性も高まります。待ち合わせの際は、男性から率先して声をかけ、女性の緊張を和らげるようにエスコートしてください。こうすることで、リラックスした良い雰囲気の中でお見合いをスタートできます。

会話は連想ゲーム

お見合いの会話をスムーズにするためには、プロフィールをよく読んで事前にお相手の趣味、お休みの過ごし方などをチェックしておきましょう。お見合いでは、「会話が続かない」と悩まれると思いますが、焦る必要はありません。一瞬でも不機嫌な表情を見せると、女性は敏感に感じ取ります。**会話は「連想ゲーム」と考えると広がりやすくなります。お相手の出身地からでも、美味しいもの、観光地、お土産品、出身の芸能人、ご自身の旅の思い出、幼いころに見ていたご当地のテレビ番組など、さまざまな話題につなげることができます。連想と想像力で会話を広げてみましょう。**また、婚活セミナーなどで、よく「女性を褒めましょう！」と言われますが、褒めすぎは逆効果になることもあります。ファッションに詳しくないのに、「洋服のセンスがいい」と言うのは控えましょう。例えば「素敵な色のワンピースですね。とてもよくお似合いです」程度で十分です。女性は自身の気持ちに共感してくれる男性に好感を持つ傾向があります。「分かります！」と受け答えをしたり、大きくうなずいて共感を示すことで、好印象を伝えることができます。

話題

NG

発言・行動に注意しましょう

お見合いでは、お相手は初対面の異性です。悪意がなくても、何気ない一言や行動でお相手を傷つけてしまうことがあります。特に、以下のような発言や行動はトラブルの原因になりやすいため、十分に注意しましょう。

◆名刺を渡す ◆物品を販売する・紹介する ◆写真と違うと指摘する ◆あからさまにがっかりする ◆不機嫌な態度をとる ◆家族の詳細について過度に質問する ◆貯蓄額、財産について尋ねる ◆相手の相談室のサービス内容やお世話の仕方について質問する ◆結婚していない理由、離婚理由、お見合いの回数、過去の恋愛について尋ねる ◆短時間（30 分ほど）で帰ろうとする ◆話をしない ◆返事をしない ◆自分の話ししかしない ◆「相談室に無理やりお見合いをさせられた」「自分は来たくなかった」などの発言をする ◆専門的な仕事の話をする ◆過去の自慢話をする ◆お茶代を女性に払わせる ◆スマホを見ながら会話する

※たとえ、イメージしていたお相手ではなかったとしても上記のような発言・行動は**厳禁**です。誠意と礼節を持って接することが、良い印象につながります。

交際になったら

別れ際も重要です。気を抜かずに！

お見合い 終わりに

お見合いの時間は、60分～90分程度が目安です。

「楽しかったな」「もっと話してみたいな」と思ったときは、「とても楽しかったです」「今日はお時間を作っていただきありがとうございました」と好意と感謝を伝えましょう。

お茶代は、男性が支払うのがルール＆マナーです。男性がお茶代を出さなかったことで交際に発展しなかったケースもありますので、女性の「私の分はお支払いします！」の言葉を真に受けず、男性がスマートにお支払いしましょう。

オンラインの場合は、お茶代の支払いはありませんので「本日はありがとうございました！」とお礼や感謝の気持ちを伝えて終了します。

お見合いのお返事は、できるだけ当日中に所属の相談所にご連絡ください。遅くとも翌日の13時までにはご報告をお願いします。返事に悩まれた場合は、お見合い終了時のご自身の気持ちを思い出してみてください。例えば「もう少し話をしてみたい」「このままお別れするのは少し寂しい」「もうお会いしたくない」といった感情から、答えが出てくることがあります。カウンセラーの先生に相談されるのもよいでしょう。また、帰り際に、男性から「楽しかったです。」「またお会いしたいです。」と伝えることは、女性の気持ちが動くきっかけにもなります。言葉にして気持ちを伝えることで、お相手との距離を自然に縮めることができます。

交際を続けるためには最初が肝心！

お見合い終了後、双方が交際を希望する場合は、相談室を通じて連絡先を交換していただきます。最初の連絡は男性から行うのが一般的ですので、電話番号は必ずプロフィールに登録をし、交際が決まった際にお相手に公開してください。LINE、メールではなく、電話で直接お話ししましょう。ファーストコールは交際になった翌日以降に行い、時間は21時前後を目安にするのが一般的です。初回のデートは出来るだけ早く、交際成立後1週間以内に設定することが理想です。その後のデートの間隔は、近距離であれば週1～2回程度を目安にするとよいでしょう。会えない時間が長くなるほど気持ちが離れやすいので間隔を空けすぎないように注意しましょう。また、お会いするまでの間にLINEなどのやり取りの結果、一度も会わずに交際を取りやめた場合は、違約金が発生します。交際が決まったら、一度はデートするようにしましょう。対面だけでなくオンラインデートも可とします。

また、交際中に

- 高額なプレゼントを貰った
- 高額なプレゼントを要求された
- 金品の貸し借り
- 性的関係の要求
- セールス

などを受けた場合は必ず相談室にご相談下さい。

交際開始 (仮交際)

真剣交際

仮交際を経て、お互いに「結婚したい」と思える相手に出会えたら「真剣交際」に進みます。

交際期間は、一般的に約 3 ヶ月とされており、その中には「仮交際」と「真剣交際」の期間が含まれます。

おつき合いをする中で、「この人となら将来、生活を共にしたい」と思えたら、結婚を意識しながら一人のお相手と真剣に向き合っていきましょう。

この期間中に 1 ～ 2 回しか会っていない、あるいは、ほとんど連絡を取っていないという場合は、交際延長もひとつの選択肢にもなります。しかし、気持ちがないまま交際を続けても、双方にとって良い結果につながりません。その場合は、むやみに交際期間を延ばさずに、交際を中止する可能性も視野に入れ、成婚につながる交際に絞っていく意識を持つことが大切です。

デート費用について

デートの費用はほどほどに抑えましょう。**年代によって感覚には差がありますが、基本的には男性が費用を負担する意識を持つことが望ましいでしょう。**ただし、感謝の言葉もなく当たり前のように男性に負担させる場合は、交際を続けるかどうかを判断するひとつの基準になるのではないのでしょうか。

カウンセラーとの連携

デート中のお相手の印象、言動で悩んだ時は、カウンセラーの方に相談しましょう。

自己判断による誤解で、せっかくのご縁を無駄にしないよう注意しましょう。**婚活のプロからアドバイスを受けることで、些細な悩みも解消され、前向きに進むことができます。**

交際期間について

交際期間は、お見合い日を起点として 3 か月です。やむを得ない事情で延長を希望する場合は、双方の相談室に相談し、**お相手の同意が得られれば最長 6 か月まで延長することが可能です。**ただし、交際終了後や退会後に、**相談室を通さずに交際相手と成婚された場合は、違約金として成婚料の倍額をお支払いいただく必要があります。**

交際期間の注意事項

婚前交渉、高額品の進呈、金銭の授受、高額商品の販売などは禁止です。

以下の場合にご成婚と同等となりますのでご注意ください。

▲結婚の口約束 ▲宿泊を伴う旅行（別室でも同等） ▲同棲 ▲婚前交渉

▲交際延長期間の 6 ヶ月を過ぎて交際希望の場合

交際のお断りについて

交際終了を希望される場合は、**お相手女性に直接伝えず、必ず所属の相談室に連絡をお願いします。**お相手からのお断りも相談室を通して来ます。交際終了後はお相手と連絡を取る事は禁止ですので直ちに連絡先の削除をお願いします。

交際中

ご成婚

交際から 3 ヶ月でお相手と結婚の意思が固まれば、ご成婚となります。

プロポーズ

所属の相談室を味方につけて

通常の交際とは異なり、婚活における交際は、結婚を前提としたお付き合いです。

そのため、お相手に対して結婚の意思が芽生えた時点で、ご自身の気持ちを率直にお伝えすることが望ましいでしょう。

「自分には気持ちがあるのに、相手の気持ちがはっきり分からない」といった場合は、担当カウンセラーにご相談ください。交際が始まった時点から、**お付き合いの状況をこまめにご報告**しておくことで、いざという時により具体的なアドバイスを受けることができます。

また、**お互いに結婚に向けた話はなんとなくしているのに、男性がなかなか具体的な行動を起こしてくれない**——そのような不満を女性から伺うことも少なくありません。

一般的に、多くの女性は男性からのプロポーズを待っているものです。女性の気持ちやプロポーズのタイミングについては、所属の相談室とお相手の相談室と確認を取りながら進めていきましょう。



プロポーズは、あなたの気持ちをハッキリ伝えましょう！

ご成婚に向けて

成婚前に、お相手のご両親やご家族に一度お会いしておきましょう。正式な結納、両家のご挨拶などは、成婚後でも差し支えありませんが、これから家族となるお相手に対して、事前にご挨拶しておくことで、成婚手続きをスムーズに進めやすくなります。その後、相談室に結婚の意思があることを報告してください。報告後は、双方の相談室の指示に従って手続きを進めますが、お二人揃って相談室にご挨拶に伺う場合や、双方の相談室の担当者をお交えた 4 名での顔合わせとなる場合もありますので、事前に確認しておく心安心です。そして、**ご成婚料を納めていただいた時点で『成婚退会』となります。**

ご成婚

※※理想としては、お二人揃ってのご成婚のお申し出が望ましいですが、交際の項目でも触れた通り、結婚相談所では以下の場合も『成婚』扱いとなり、ご成婚料が発生します。あらかじめご承知おきください。

- ▲結婚の口約束 ▲宿泊を伴う旅行（別室でも同等とみなされます） ▲同棲 ▲婚前交渉
- ▲交際延長期間の 6 ヶ月をさらに過ぎて交際希望の場合

なお、その後何らかの理由で入籍に至らなかった場合でも、ご成婚料の返金は基本的にいたしかねます。ご了承ください。

笑顔と行動力で皆様に素敵なご縁がありますように！ 応援しております。



株式会社日本仲人連盟